

事業評価シート

事務事業名	学校教育将来構想事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	小規模校の活性化と再編施策の検討	班 名	学務班
		事業コード	4211

事業の目的	少子化が進み、学校規模が大幅に減少し、複式学級や十数人の学級が生ずるなど学校事業に一定の制約が加わっている現状を把握し、町民の意見を反映させながら、これからの教育環境はどう変わるべきか方向性を探る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校将来構想検討委員会を設置し、提言書を提出 ・学校教育懇談会の実施 ・美郷町学校教育将来構想を策定 			
事業の対象	町民			
事業費	年度・区分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度予算
	金額	510 千円	501 千円	260 千円

事業の効果等	<p>学校教育懇談会では、保護者や地域住民に本事業や学校規模の現状等を説明し適正規模に再編する方策についての貴重な意見を頂戴した。</p> <p>学校将来構想検討委員会より、長期的展望に立った学校規模を実現するためには、小学校は旧町村ごと1校、中学校は町内1校に統合することが望ましいという提言書が示された。</p> <p>この提言書や住民意見を基に学校教育将来構想を策定し、子どもたちにとって望ましい教育環境整備の方針を定めた。</p>
--------	---

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	<p>学校将来構想検討委員会から「長期的な展望に立った学校適正規模の実現について」提言書が提出された。学校教育懇談会での保護者や地域住民の意見及び提言書を基に「学校教育将来構想」を策定した。平成21年度以降は「学校再編計画」に基づき、再編を具現化していく。</p>			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり
------	---	--------	----------